

2012年5月31日

いすゞ、ロシア事業の取組みについて

－ソラーズいすゞ社の出資比率引き上げ－

いすゞ自動車株式会社(以下「いすゞ」)は、販売の大幅な増加が望める市場であるロシアにおいて、商用車の生産・販売の拡充を図る目的で、 Sollers 株式会社(以下「ソラーズ」)と、双日株式会社(以下「双日」)とで出資するソラーズいすゞの出資比率を引上げることとしました。

具体的には、これまでに、いすゞが 29%、ソラーズが 66%、双日が 5%の出資を行っていましたが、中期経営計画に基づくロシア事業再強化の一環として、ソラーズいすゞへ 66%を出資するソラーズより、同社が保有する株式の一部を購入し、いすゞの出資比率を 45%まで引き上げることとしました。

また、出資比率の引き上げと合わせまして、いすゞから販売、財務、アフターサービス管轄役員をソラーズいすゞへ派遣し、販売網の再構築等を積極的に進めてまいります。

尚、ソラーズいすゞは、2008年よりトラックの生産をタタルスタン共和国のエラブガ工場で行ってまいりましたが、この度、長期的な事業安定の視点からウリヤノフスク市に移転をすることを決定いたしました。

以上

【新工場の概要】

所在地	ウリヤノフスク州ウリヤノフスク市
開始年月	2012年6月
生産車種	いすゞNシリーズ(日本名：エルフ)
生産能力	当面 5,000 台/年
敷地面積	23,500m ² (UAZ 工場内専有面積)

【ソラーズいすゞの概要】(出資比率変更後)

会社名	ソラーズいすゞ社 [CJSC SOLLERS-ISUZU]
本社/工場所在地	本社/工場：ウリヤノフスク市 支店 ：モスクワ市
代表者	ヒルガート・フランツ・ゲハート(Hilgert Franz Gerhard)
資本金	350 百万ルーブル
株主	いすゞ 45%・ソラーズ 50% 双日 5%
事業内容	商用車・部品の輸入・製造・販売